

令和元年度第2回蕨市総合教育会議 議事録

1. 日 時 令和2年2月7日（金） 午後3時10分～午後4時15分

2. 会 場 市役所4階 第1委員会室

3. 出席者（敬称略）

市 長：頼高 英雄

教育長：松本 隆男

委 員：加藤 正明、飯野 朗子、萩原 敏行、小島 奈津子

事務局：【市長部局】川崎 文也（理事）、佐藤 慎也（総務部長）、有里 友希（政策企画室長）、島田 雅也（政策企画室長補佐）、森本 悠理（政策企画室主事）
【教育部局】渡部 幸代（教育部長）、原田 卓治（教育部次長学校教育課長事務取扱）、田中 昌継（教育総務課長）、松永 祐希（生涯学習スポーツ課長）、佐藤 直哉（歴史民俗資料館長）、渡邊 浩介（教育総務課庶務係長）、松永 由美子（学校教育課指導係長）、竹田 有里（生涯学習スポーツ課生涯学習振興係長）、池澤 英明（生涯学習スポーツ課スポーツ推進係長）

4. 内 容

1 開会

【佐藤総務部長】

それでは、定刻となりましたので、始めさせていただきます。

ただいまから、令和元年度第2回蕨市総合教育会議を開会いたします。

2 あいさつ

【佐藤部長】

はじめに、会議を招集した頼高市長からごあいさつをお願いいたします。

【頼高市長】

皆さまこんにちは。本日は令和元年度第2回蕨市総合教育会議を開催しましたところ、大変お忙しいなかご出席いただきありがとうございます。また、日頃から蕨の教育行政に大変ご尽力、協力いただいておりますことに、市長として感謝申し上げます。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、平成27年度

に蕨市総合教育会議を設置してから、まもなく5年が経過します。毎年度2回会議を開催していますが、年度の1回目はその時々の教育をめぐる重要な課題を議題としております。1年目は蕨市教育大綱について、2年目は子供たちの学力について、3年目は子供たちの体力について、4年目はいじめのない学校づくりについて、そして、5年目の今年度は、教育センターの効果的な運用についてご審議いただき、教育行政の充実に重要な役割を果たしてきたと考えております。

本日は、蕨市教育大綱としている蕨市教育振興基本計画が令和元年度で終了するため、大綱の取扱いについてもご審議いただく予定です。

また、例年、年度の2回目は新年度の教育事業予算を中心にご審議いただいております。今回も同様の議題を扱う予定です。予算編成作業は概ね終了し、2月下旬から予算を審議する議会が始まります。内容は多岐に渡りますが、教育分野は最重点事業であり、思い切った予算措置を講じています。

学校ICT環境の整備については、国の方針を踏まえて児童・生徒1人1台のパソコン配備を令和5年度までに計画的に進めます。また、各校のLAN環境整備に係る予算も計上しています。

教育センター内ICT環境の整備については、ICT環境を活用した学力や生きる力の育成に大きな役割を担う教職員の研修を充実するため、学校と同等の環境整備を予定しています。

英語教育については、学習指導要領の改訂で小学校における英語教育の全面実施を迎えるなかで、順次増員してきた外国語指導助手・ALTを現状の7名から各校1名の10名体制に増員する予定です。

学校体育館へのエアコン整備については、子供の学習環境の向上と災害時の避難所環境改善の両面から行うもので、初年度は3つの中学校への整備に係る設計を予算案として盛り込む予定です。

充実した教育行政には、教育条件の整備と先生方の研修による資質向上の両方が必要です。本日は、忌憚のない意見をいただき、蕨の教育の更なる充実に資するよう委員の皆さまのお力添えをお願いしまして、冒頭の挨拶とさせていただきます。皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

3 議題

【佐藤部長】

ありがとうございました。それでは、要領第3条の規定に基づきまして、会議の議長を頼高市長にお願いさせていただきます。頼高市長、よろしくお願いいたします。

【頼高市長】

はじめに、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、総合教育会議は公開することとなっておりますが、本日の会議に傍聴の希望者はいらっしゃいますか。

【佐藤部長】

今日は、傍聴希望者はありません。

(1)「蕨市教育大綱」の取扱いについて

【頼高市長】

それでは、会議次第に基づきまして、会議を進行いたします。議題(1)の「蕨市教育大綱の取扱いについて(案)」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

【有里室長】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3で、「地方公共団体の長は教育基本法第17条第1項に規定する基本的な方針を参酌し、その地域の実情に応じて当該団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針の大綱を定める」とされています。

また、地方公共団体においては、同法律第17条2項に関連して、「教育振興基本計画その他の計画を定めている場合には、その中の目標や施策の根本となる方針の部分が大綱に該当すると位置付けることができると考えられることから、地方公共団体の長が、総合教育会議において教育委員会と協議・調整し、教育振興基本計画をもって大綱に代えることと判断した場合には、別途、大綱を策定する必要はない」という旨が文部科学省通知で示されています。

本市は、平成27年度第1回会議において、蕨市の最上位計画「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンと整合性を取り、教育基本法の基本的な方針を参酌した蕨市教育振興基本計画をもって大綱に代えることを決定しております。

このたび、令和2年度からを計画期間とする第2期蕨市教育振興基本計画が「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン後期実現計画との整合を図りつつ作成されていることから、令和2年度からも、当該計画をもって、蕨市教育大綱としてよろしいか協議をお願いします。

【頼高市長】

ただいまの説明に意見・質問はありますか。

【一同】

特になし。

【頼高市長】

それでは、令和2年度からは第2期蕨市教育振興基本計画をもって蕨市教育

大綱にあてていくことにしたいと思います。

(2) 令和2年度教育事業の概要(案)について

【頼高市長】

それでは、令和2年度教育事業の概要(案)について議題とします。事務局から説明をお願いします。

【田中課長】

先ほど、教育の目標や施策の根本的な方針である大綱について、令和2年度以降は、第2期蕨市教育振興基本計画をもって代えることを決定いたしました。

蕨市教育大綱は基本理念、基本方針、基本目標を骨子としており、蕨市の教育の目指す姿として構成しております。令和2年度教育事業の概要(案)は、蕨市教育大綱を基に、基本目標に掲げる「① 学びあい高めあう学校教育の充実」、「② 生涯学習を支える社会教育の充実」、「③ どこでもだれもが親しめる生涯スポーツの充実」の各分野における、新規・拡充事業及び特徴的な事業の11事業となっております。なお、各事業は、各所管課から説明をさせていただきます。

基本目標① 学びあい高めあう学校教育の充実

1 少人数学級推進事業(35人程度学級)

【原田次長】

予算額は2,553万6,000円です。来年度は5人の市費教員の配置を予定しております。

国・県において小学校1・2年生の35人学級を実施しておりますが、蕨市は独自に3年生から6年生までの少人数学級を実施しております。低学年からの円滑な引き継ぎを行うとともに、きめ細やかな支援の充実を図っており、学級編制を少人数化することで、教師が児童一人ひとりに目の行き届いた教育指導を行えることが最大のメリットです。また、保護者に対しても丁寧な対応が可能となっております。

2 教育センターの効果的な運用

【原田次長】

予算額は1,949万4,000円です。国が示すGIGA(=Global and Innovation Gateway for All)スクール構想にあわせ、令和2年度からの4年間で市内全児童・生徒が1人1台のパソコンを活用できる環境を整備するため、教育センターに学校同様のICT環境を整備し、教員へのICT活用研修を行います。大型TV2台、プロジェクター1台、スクリーン1台、研修用パソコン20台、指導者用パソコン1台、教材集約用パソコン1台、LAN整備を行うほか、デジタル教科書を利用した大型TVの活用、QRコードの活用、協働学習への活

用、プログラミング教育の実践的な研修、講師を招聘しての研修を行う予定です。また、併せて、教育相談や日本語特別支援、教職員の研修、学校コーディネートなどを行い、効果的な運用を図っていきたいと考えております。

3 ALTを活用した外国語教育

【原田次長】

予算額は3,785万6,000円です。小・中学校における外国語教育の更なる充実に向け、外国語指導助手であるALTを3名増員し、市内全小・中学校に1名ずつのALTを配置し、外国語指導を実施します。

ALTの増員により、担任との綿密な打ち合わせによる質の高い授業展開と教材開発の充実が期待できます。また、パフォーマンステストを共同で実施することで、学習習熟度を適切に把握し、個々に応じた指導を図っていきたいと考えています。

4 東京2020オリンピック学校連携競技観戦

【原田次長】

予算額は93万4,000円です。夏季休業中に市内小学校5年生の全員を対象としたバスケットボール競技観戦を行うとともに、バスケットボール、サッカー一部に所属する市内中学生が同競技を観戦できるチケットを用意します。観戦できない児童・生徒にも試合の様子や雰囲気伝えられるよう、各校に依頼していきたいと思います。

5 学校ICT環境の整備

【原田次長】

予算額は3億1,263万9,000円です。国のGIGAスクール構想にあわせ、児童・生徒がICT機器を問題解決や共同作業に有用なツールとしていつでも活用できるように段階的に整備を行います。令和2年度は、小学5・6年生、中学1年生、小・中学校特別支援学級を対象に約1,500台の学習用のパソコン整備、同教室数分の大型掲示装置、同学年教員用のパソコン整備を行うほか、小・中学校全校に校内通信ネットワークを整備する予定です。

その他、教員がICT環境を授業で有効に活用できるよう教職員研修を計画的に進めます。

6 コミュニティ・スクール事業の推進

【原田次長】

予算額は9万円です。学校運営や学校教育活動に対して地域住民が参画できるよう、東小学校・塚越小学校・東中学校区を一地区としたコミュニティ・スクールを引き続き推進いたします。令和2年度は、3校の共通目標を基に、各校職員の学校運営参加意欲の向上、授業・行事内容の改善、学校評価項目の見直しを行いたいと考えています。

【頼高市長】

それでは、基本目標①について、皆さんよりご意見・ご質問をお願いしたいと思います。

【飯野委員】

コミュニティ・スクールを1年間行って上手くいかない場面はありましたか。

【原田次長】

開始初年度のため、3校一致の共通目標や来年度の評価項目を中心に議論しました。共通目標に向かって、一丸となって児童を中学校に送り込む姿勢が教職員まで共有できていないため、教職員を巻き込んで学校運営を一体化する機運醸成が課題になると思います。

【飯野委員】

蕨市教育大綱に基づき、育てたい子供たちの目標があり、「凡事徹底」など各校の特色や目標があるなかで、地域を巻き込んで3校共通の抽象的な目標の作成に時間を要するのは足踏みに思えます。「地域で朝晩掃除をする」、「挨拶が基本だから徹底する」などの具体的な目標に向かうステップを経て1年後に目標を見直すのがよいのではないのでしょうか。今後、どのようにコミュニティ・スクールが発展するかが気がかりです。

【原田次長】

今年度は3校の目標を「自分を大切に出来る子を育てよう」と決めて、それぞれの学校で取り組みを進めています。各校の特色や行事はありますが、共通目標に対する進捗状況を評価して、学校運営方針に反映していく予定です。

また、運営委員の関わり方を、先行実施している自治体より学ぶとともに、セルフ・エスティームの講師を交えて、各校の理念や実際の活動を集約して共通の基盤を作ろうとしています。

【萩原委員】

働き方改革が進むなか、コミュニティ・スクールが地域の教育的要求を叶える場になると学校の負担が増加します。地域コミュニティで学校教育を盛り上げるのではなく学校教育を分担するというのが元々の概念であるため、学校から地域や家庭に対して教育で担ってほしい役割などを積極的に要求してもよいと思います。

【萩原委員】

教育センターの効果的な運用については、ICTも含めた運用についての講師を呼ぶ話がありましたが、積極的に教科書作りに参加している学校の先生など先進的で理念を語れる講師に来ていただけるとよいと思います。

【飯野委員】

ICTの職員研修については、得手不得手があるので研修を受けた全員が同じレベルに達するわけではありません。講習会を行ってすぐに授業で使うのではなく、同僚同士で質問できる交流会や教育センターが窓口になってメーカーの担当者などに尋ねられる仕組みがあれば次のステップに進みやすいし、効率的だと思います。

【萩原委員】

各校にICT担当を設置してトラブルなどを解決している自治体を知っています。藤の現状を教えてください。

【原田次長】

情報教育担当主任を設置しており、問題があった際は、中心になって解決してもらいたいと考えています。2月に担当者を対象としたICT研修を行うなど、既存の環境下での教育は積極的に推進する予定です。

【萩原委員】

ICT研修については、国が期待するレベルまで知識を向上する研修と知識がない職員の底上げを行う研修の2種類のうち、主に後者の手立てをとる必要があると思います。

【小島委員】

疑問に対して最低限の知識を教えてくれる担当がいれば、能力を底上げできると思います。教える側に安心感と自信がないと、教えられる子供も不安を感じます。一つの学校に担当の先生を負担のない程度に置くことが、子供にICT教育が浸透する一番の近道と感じます。

【小島委員】

「東京2020オリンピック学校連携競技観戦」について、3点質問があります。1)各自治体にチケットの配分数は、あらかじめ決められているものですか。2)観戦できる学年を小学5年生だけにした理由を教えてください。3)パラリンピックの観戦は行わないのですか。

【原田次長】

1点目について、あらかじめ自治体への配分数は決まっておらず、「希望校のみ」、「部活ごと」、「各校一律同数」など自治体によって申請方法も様々です。申請が全て認められるわけではなく、申請数に対して確保できたチケットが1/10となる市もありました。

2点目について、5年生はミニバスケットボール大会をしており、バスケットボールの会場はさいたまスーパーアリーナでアクセスがよいため選びました。また、5年生の行事である来年度の林間学校は、夏季休業中の輸送事業者の確保が困難であるため、休業日に行うこととなります。授業時間の関係上、2泊3日

を1泊2日にする必要があるため、その分を補いたいという思いもあります。

3点目について、パラリンピック観戦の予定はありません。

【小島委員】

次回の東京五輪はいつ開催されるか分かりません。眼前で世界の行事を見ることは何年も印象に残るはずなので、大人だけでなく、たくさんの子供にパラリンピックも観戦してほしいと考えました。観戦できなかった子供に還元できる仕組みがあるとよいと思います。

【萩原委員】

聖火リレーが7月7日に蕨市に来るので旗振りなどができると子供たちの思い出になると思います。

【原田次長】

移動距離や観覧場所の問題があるので、学校・学年を選定する必要がありますが、担当部署の政策企画室と相談して、多くの子供に機会を与えたいと思います。

基本目標② 生涯学習を支える社会教育の充実

1 わらび学校土曜塾

【松永課長】

予算額は601万9,000円で、県補助金416万8,000円を見込んでいます。平成25年度に3校でスタートし、現在は7校すべての小学校区で開設しており、元教員や大学生など100名以上のスタッフの協力のもと、子供たちの基礎学力の向上や学習習慣の定着を目的に月2回程度実施しています。児童及び保護者のアンケートを行ったところ、「宿題をきちんとやるようになった」など一定の効果が出ています。

2 音楽によるまちづくり

【松永課長】

予算額は325万円です。音楽を中心としたまちのにぎわい創出や魅力発信、まちのイメージアップを目的に「小・中学校への音楽家の派遣」や「わらび市民音楽祭」などを実施するほか、市内各地の音楽情報を集約し、広報紙・ホームページで発信します。わらび市民音楽祭については、市内各地で音楽が聞こえるというコンセプトのもと、商店街、飲食店、企業などの参加・協力を得て行います。

3 河鍋暁斎記念美術館との連携

【佐藤館長】

予算額は5万3,000円です。常設展示室の一部展示替えを計画しており、平成27年に蕨市と連携協定を締結した河鍋暁斎記念美術館の紹介コーナーを設置し、河鍋暁斎、美術館、作品写真パネルの紹介や関連事業の広報で構成する予定です。

4 市民や社会教育関係団体・PTA等を対象とした人権講演会の開催

【松永課長】

予算額は44万7,000円です。人権問題を分かりやすく身近な問題として考えていただく取り組みなど市民が学習できる機会の提供に努めています。PTA連合会、青少年健全育成を進める市民大会と併せて、各種講演会により人権教育の推進を図っていきたいと考えています。

【頼高市長】

基本目標③も、引き続き説明をお願いします。

基本目標③ どこでもだれもが親しめる生涯スポーツの充実

1 各種イベントやスポーツ教室等の開催

【松永課長】

予算額は397万1,000円です。長年、実績のある市民ロードレース大会や市民水泳大会、体カテスト、少年スポーツ教室などを実施します。また、東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成に向け、市民体育館の指定管理者と連携したイベントを開催するとともに、オリンピック・パラリンピックを機に、市民の健康増進や体力向上を目指して事業を展開していきたいと考えています。

【頼高市長】

それでは、基本目標②、③について、皆さんよりご意見・ご質問をお願いしたいと思います。

【萩原委員】

音楽によるまちづくりについて、蕨市のイメージアップが言葉に入っていますが、広報部門など庁内一体で連携しているのか、教育委員会の単独事業として負担がかかっているのか、各部署との連携状況が知りたいです。

【松永課長】

まちの魅力発信は教育に限らず、市全体で取り組むものです。市役所の商工生活室も事務局として関わっていますが、事業の規模を踏まえると、より多くの部署が関わるとよいのではないかと考えております。

【頼高市長】

「音楽によるまちづくり」には、蕨市は音楽家が多くて生涯学習を充実させるという目的のほかに、まちの魅力発信、シティプロモーション、シビックプライドの醸成という側面もあります。実行委員長は商工会議所会頭が務めているた

め、教育委員会と商工生活室が中心に行っていますが、今後横断的な組織を考える可能性もあると思います。

実務的には、市民主体で事業を運営できるのが理想ですが、事業の前日・当日は教育委員会総員で取り組んでいる現実は承知しています。運営自体は上手くいっているので、次のステップを考える必要があると思います。

会場にもよりますが、紅白歌合戦など事務局があまり携わらずに行っているイベントもあります。一方で、事務局の大きな関与が必要なイベントもあるため、イベント運営組織が主体となって事業を充実できるとよいと思います。

【萩原委員】

新しく図書館が駅前に移動すると思いますが、ICT環境の充実を考えてほしいです。

【頼高市長】

前回の報告内容とその後の経過も含めて事務局から説明をお願いします。

【有里室長】

前回の会議で、設計コンセプト、機能・ゾーニングの案を示しましたが、その大きな柱の一つ「安心・快適な利用環境の整備」において、多様な利用者に配慮したゾーニングやICT活用に力を入れたいと考えており、今後更に設計作業を進めていきたいと考えています。

【頼高市長】

再開発事業は民間の事業組合が主体となっており、市は公共公益施設の中身を企画しながら、指示を出して全体の設計が進んでいます。教育は事業の重要な部分であるため必要なタイミングで報告しながら進めたいと考えています。ICT環境の整備については、パソコン持込みとそれに伴うキーボードタッチ音への対応、LAN環境も含めた学習スペースの拡張、本の管理、インターネット予約の拡大を反映した自動貸出機の整備など様々な観点を踏まえて充実を図ることが大切となります。

(3) その他

【頼高市長】

それでは、その他の議題として、事務局から説明をお願いします。

【有里室長】

その他の議題として、2点の資料についてご報告いたします。

【原田次長】

1点目の「令和元年度 児童生徒等の活躍」について、前回会議以降で顕著なものを中心に報告いたします。

東中学校の山田さんは英語弁論大会の予選を勝ち抜き、全国 2 位となりました。北小学校の金弘さんはフィギュアスケートで全国大会に出場しました。また、中央東小学校は、全国学校体育研究最優秀校として、文部科学大臣賞を受賞しています。

【頼高市長】

今年度はいつもより表敬訪問が多かったので様々な分野で頑張ったと思います。山田さんは県大会を勝ち抜くだけでも凄いのに、全国 2 位になったのは大変素晴らしいです。

【松永係長】

副賞として、イギリスを 2 週間訪れます。現地では、世界の様々な地域の子供と寮に入って生活するほか、イギリスの読売新聞社などを見学する予定です。

【有里室長】

2 点目の「東京 2020 オリンピック聖火リレー」については、3 月 26 日に福島県からスタートし、7 月 24 日まで 121 日かけて全国を巡ります。このうち埼玉県は 7 月 7 日～9 日の 3 日間で、蕨市内は初日の第 2 区間を蕨市・戸田市合同ルートで通過します。ルートは、市役所を出て市役所通りから中山道本町通りを進んで国道 17 号に入り、戸田市役所でゴール予定です。第 2 区全体の距離が 1.8 km で、蕨市内は 1 km 弱となり、全体で 10 人のランナーが駆け抜けます。

本市では、沿道警備や交通規制、子供たちを含む市民の観覧、地元団体と連携した沿道の演出に取り組むことを予定しています。

【頼高市長】

それでは、ただいまの説明について皆さんよりご意見・ご質問をお願いします。

【一同】

特になし。

【頼高市長】

そのほか、事務局からは何かありますか。

【有里室長】

次回の会議日程の提案でございますが、令和 2 年 10 月頃の開催を提案させていただきますがいかがでしょうか。

【頼高市長】

ただいま、事務局から次回の会議日程について提案がありましたが、いかがでしょうか。

【一同】

異議なし。

【頼高市長】

それでは、次回の会議は、10月に開催することといたします。

その他、何かありますか。

【一同】

特になし。

【頼高市長】

それでは、以上で本日の議事を終了いたします。ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。

4 閉会

【佐藤部長】

ありがとうございました。それでは、本日の会議はこれで全て終了いたしましたので、閉会とさせていただきます。